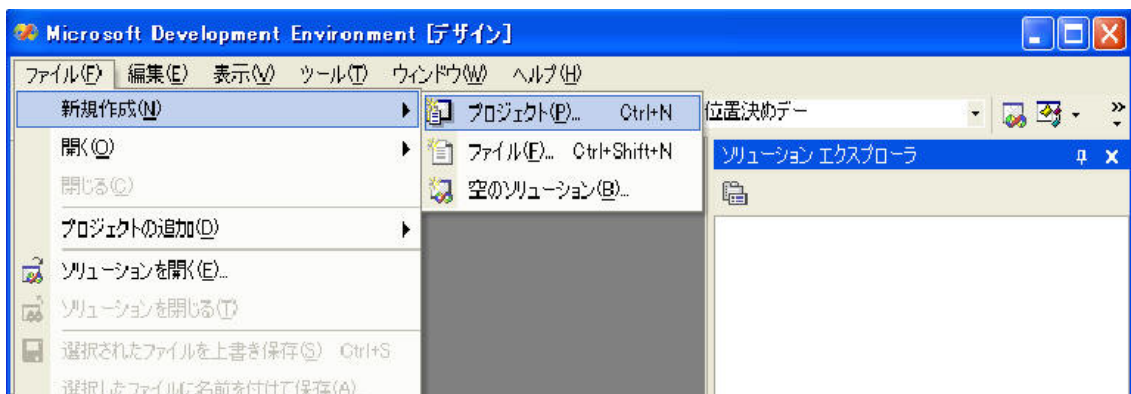




MIL サンプルプログラムのコンパイルリンク方法 その3

MIL サンプルプログラムを、Net開発環境でコンパイルリンク方法を示します。

1). Net開発環境の「ファイル」→「新規作成」→「プロジェクト」を開きます。

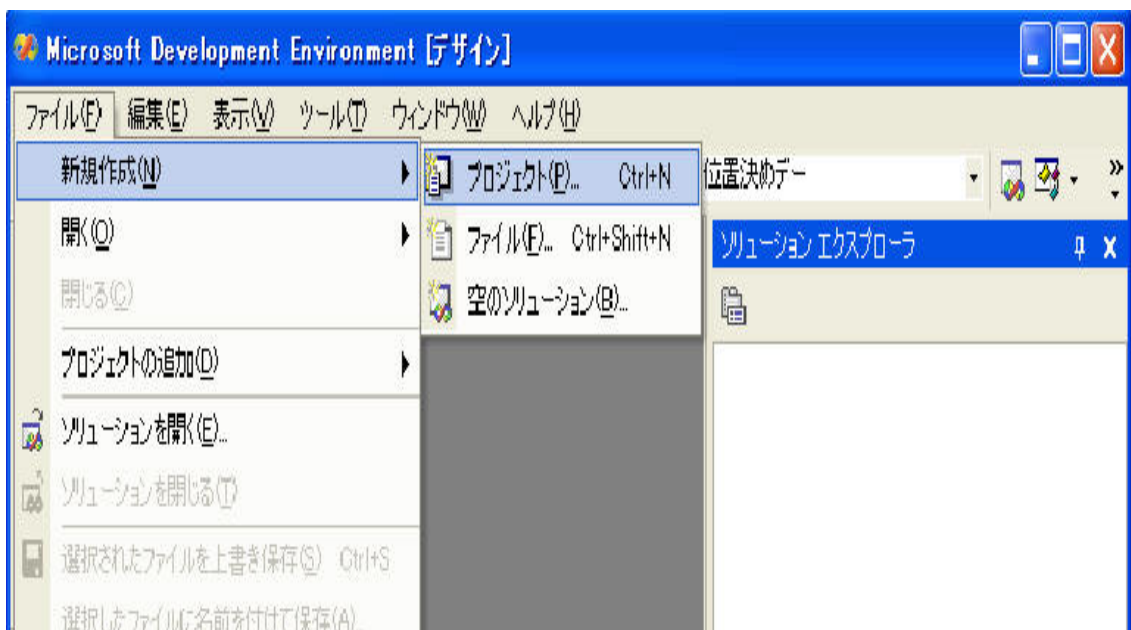


2)「新しいプロジェクト」ダイアログが表示されます。

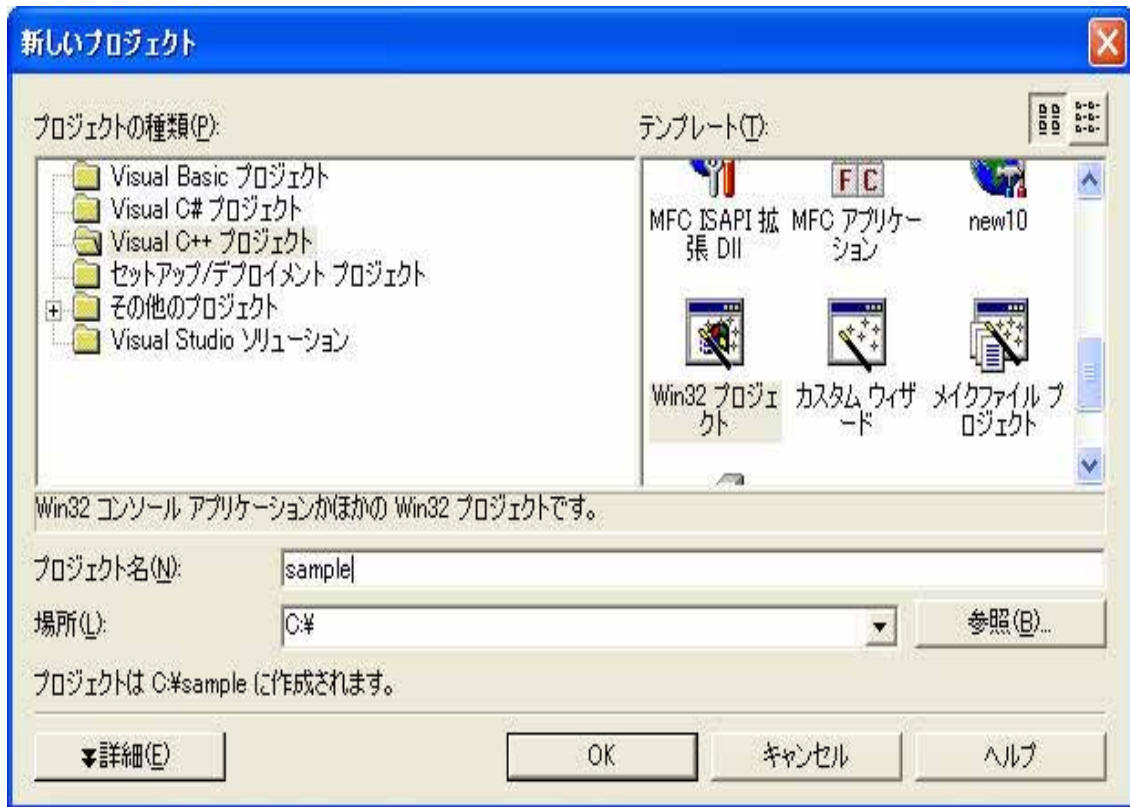
MILのサンプルプログラムは、すべて旧形式の main ベースプログラムのため、「Win32プロジェクト」を選択します。

格納場所とプロジェクト名を記入し、「OK」ボタンを押します。

ここでは、「sample」という名前のプロジェクトとします。

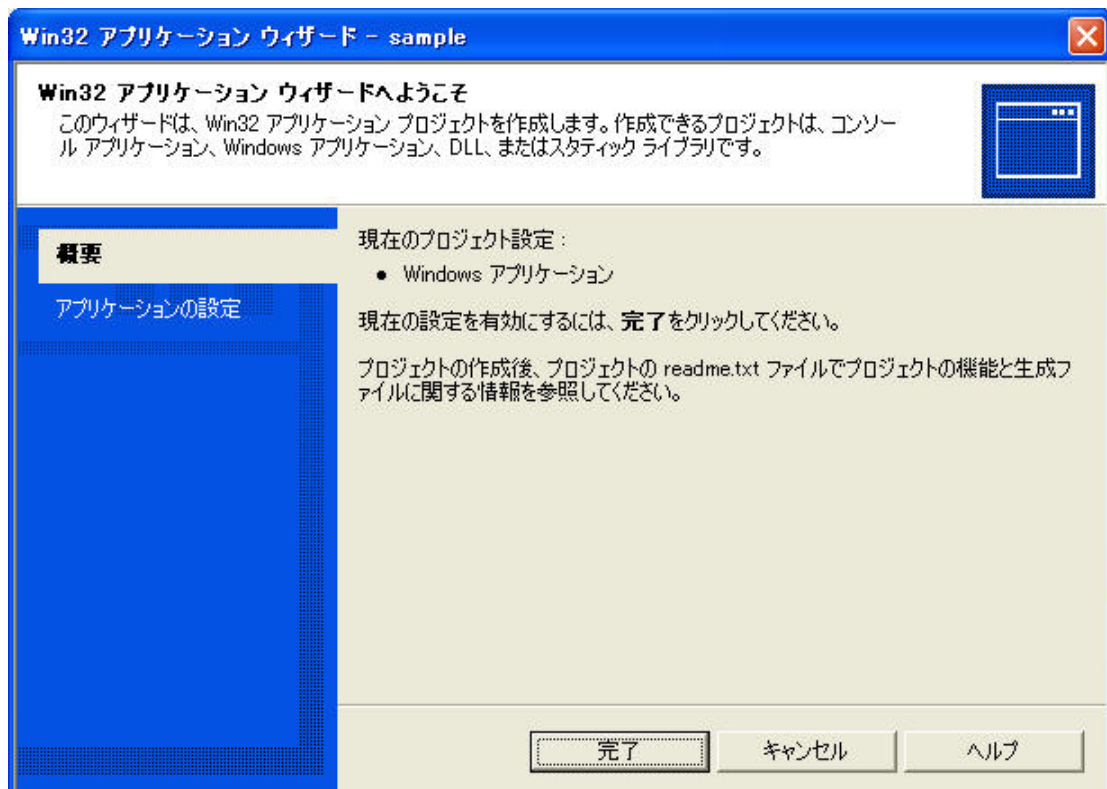


3)アプリケーションウィザードが表示されます。



4)アプリケーションウィザードの「アプリケーションの設定」を押します。

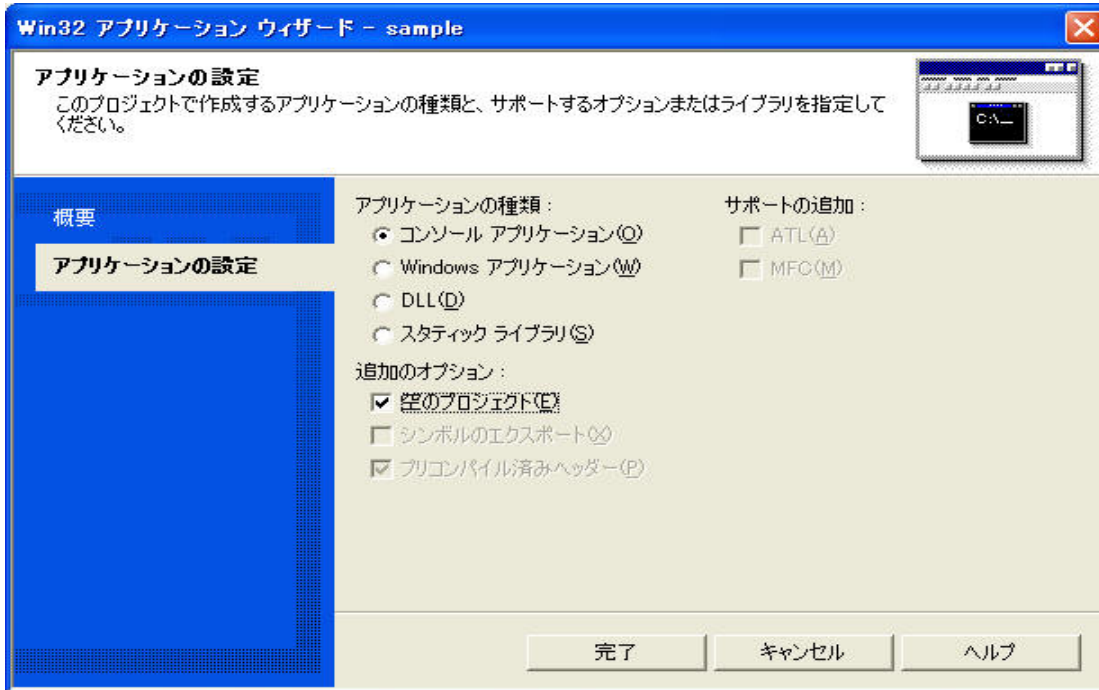
アプリケーションの種類を「コンソールアプリケーション」を選択し、追加オプションを「空のプロジェクト」に設定します。



5) sample というプロジェクトが作成されます。

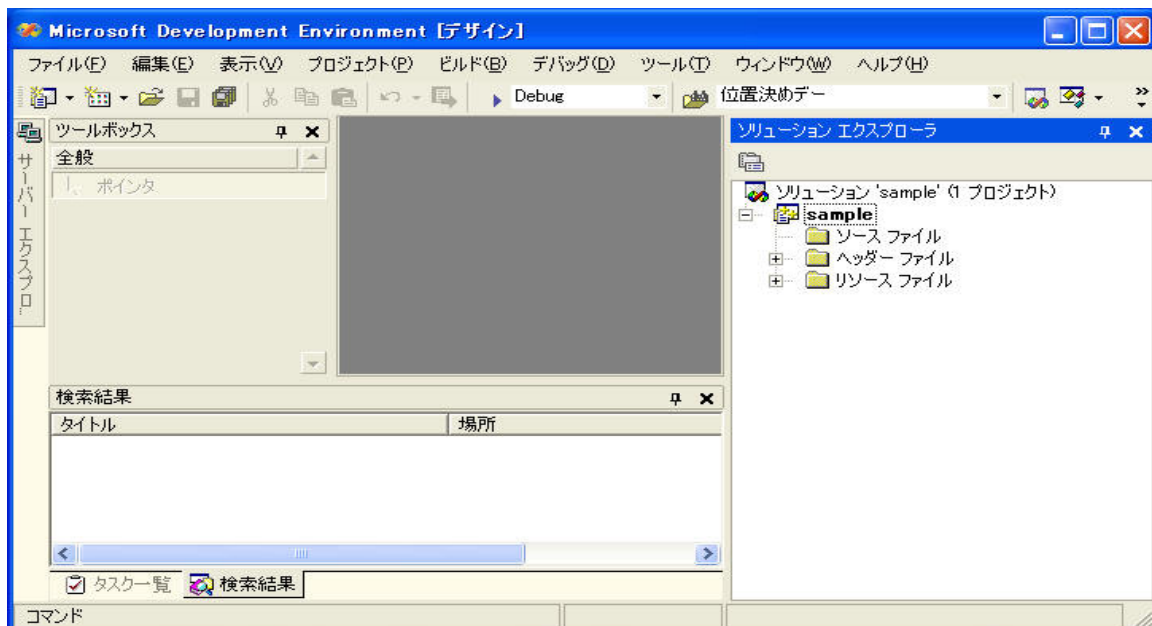
「表示」メニューの「ソリューションエクスプローラー」を開くと作成されていることが確認できます。

もちろん、空のプロジェクトのため、「ソリューションエクスプローラー」内のソースファイルや、ヘッダーファイルには何のファイルもありません。



6) ソースファイルに、MIL サンプルソースを指定します。

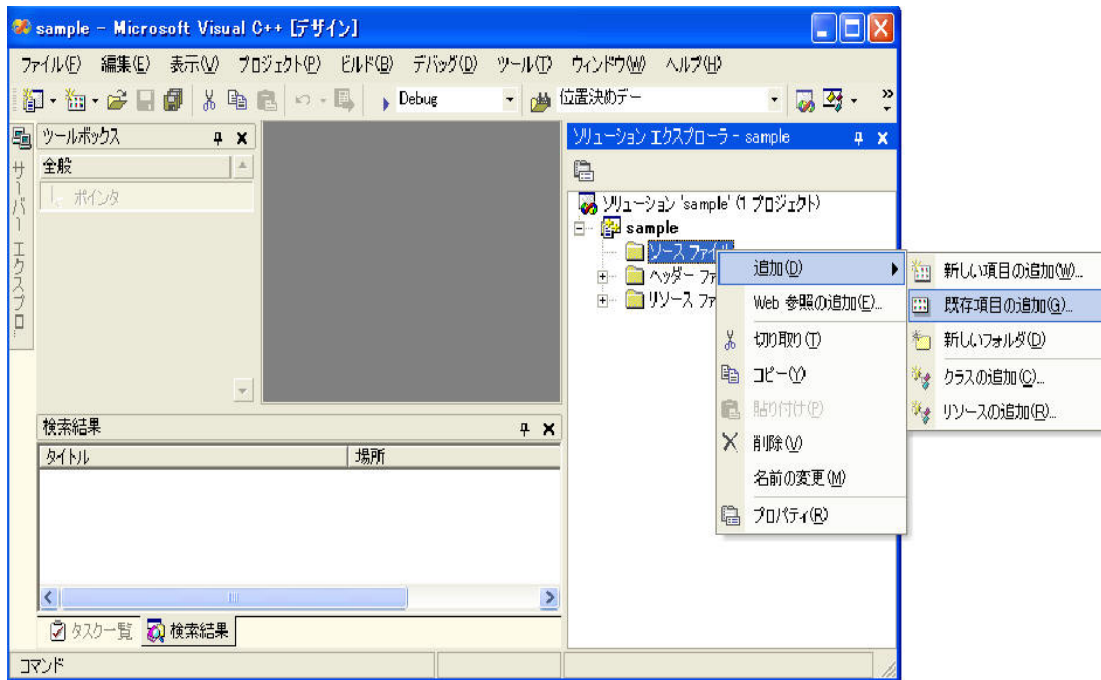
「ソースファイル」でマウスの右ボタンをクリックし、「追加」→「既存項目の追加」を指定します。



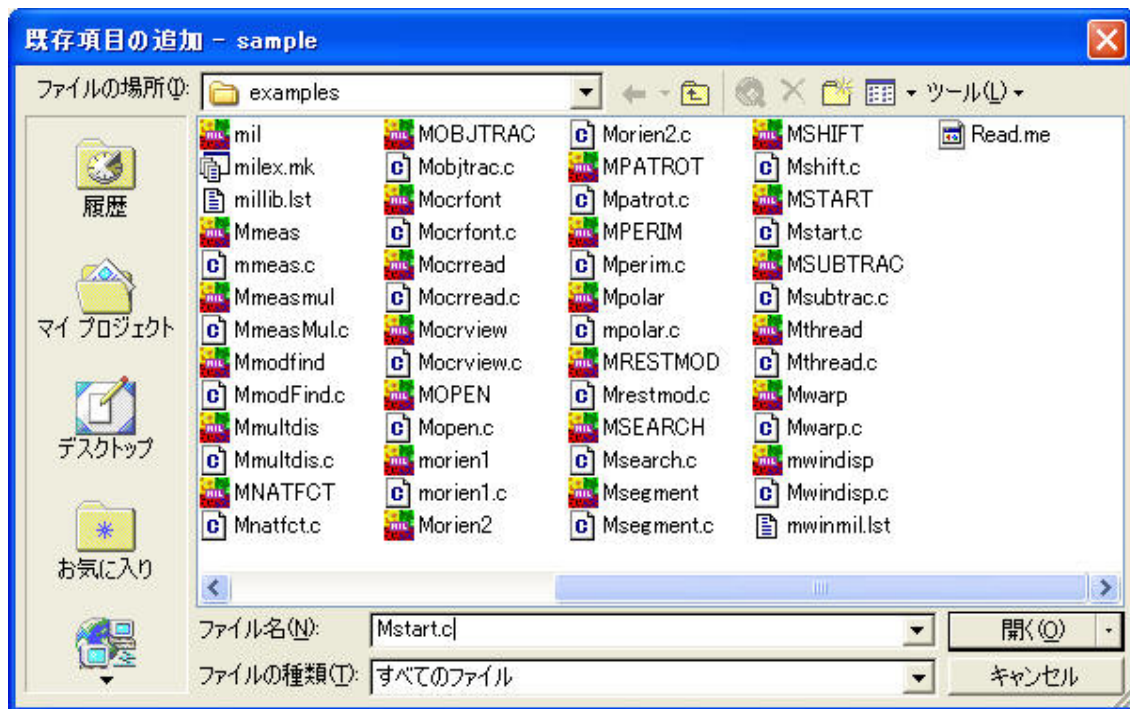
7) 「既存項目の追加」ダイアログが表示されます。

C:\Program files\matrox imaging\mil\examples\フォルダの中から、サンプルソースを選択し「開く」

を押します。ここでは、mstart.cを選択します。

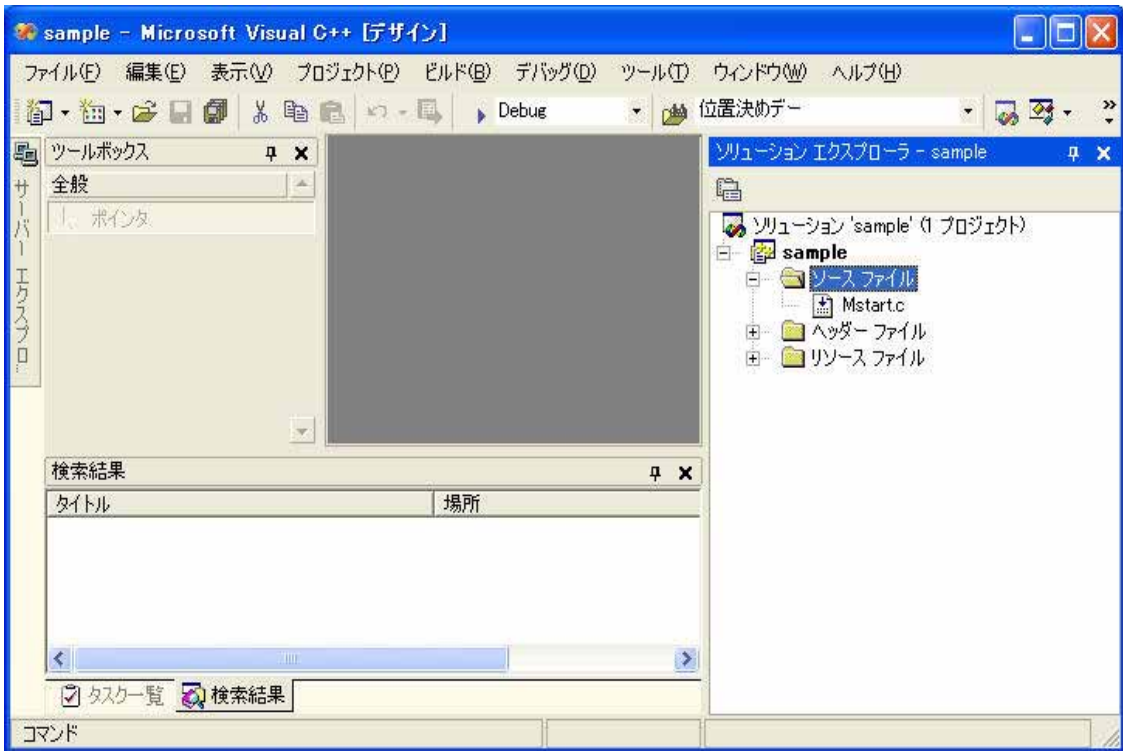


8) ソースファイルに「Mstart.c」が追加されていることがわかると思います。



8) MIL サンプルプログラムで必要な、インクルードファイルとライブラリファイルのディレクトリ指定を行います。

「ツール」メニューの「オプション」を開きます。



9)「オプション」ダイアログが表示されます。

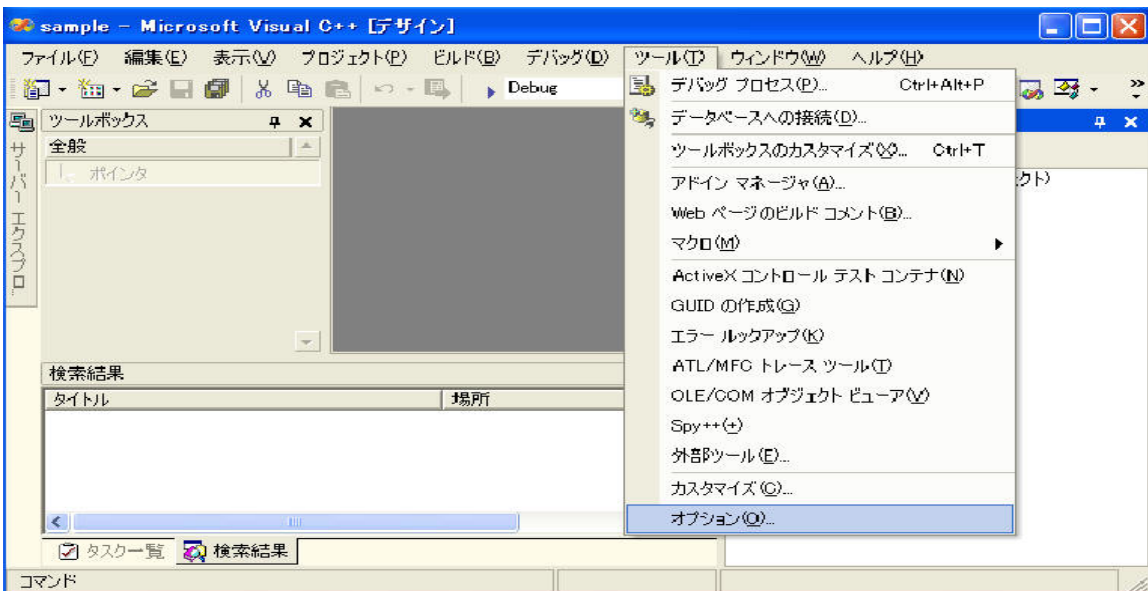
左フォルダの「プロジェクト」内の「VC++ディレクトリ」を選択します。

右上「ディレクトリを表示するプロジェクト」を「インクルードファイル」に設定します。

中央枠内リストの空欄を選択し、MIL のインクルードファイルディレクトリ指定を行います。

“C:\Program Files\Matrox Imaging\mil\include”を指定します。

「OK」ボタンを押すと設定完了です。

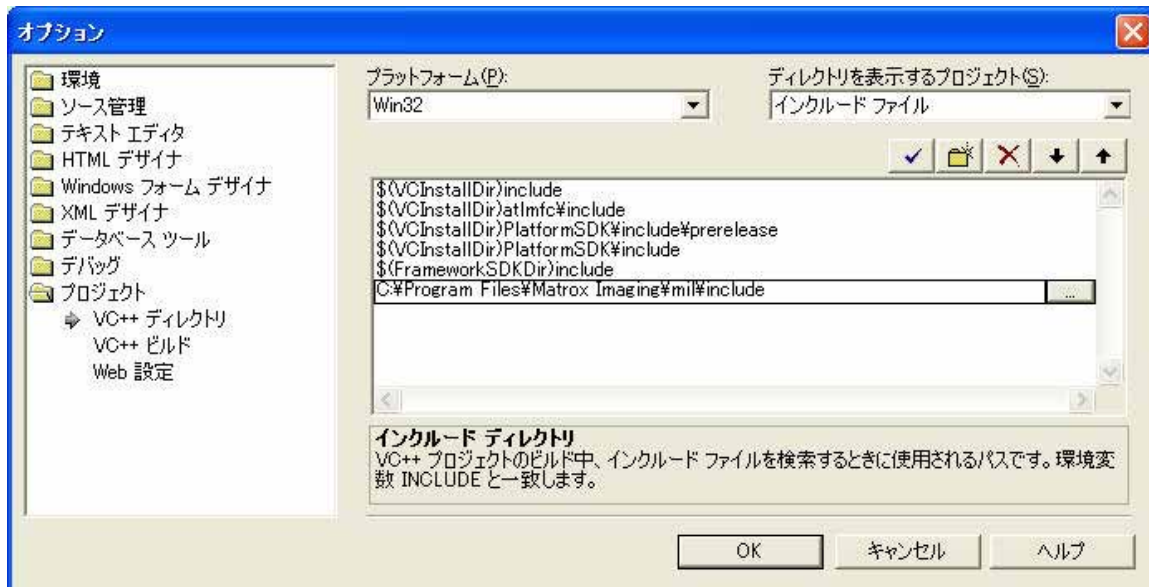


10) 続いて、右上「ディレクトリを表示するプロジェクト」を「ライブラリファイル」に設定します。

中央枠内リストの空欄を選択し、MIL のライブラリファイルのディレクトリ指定を行います。

“C:\Program Files\Matrox Imaging\mil\library\winnt\msc\dll”を指定します。

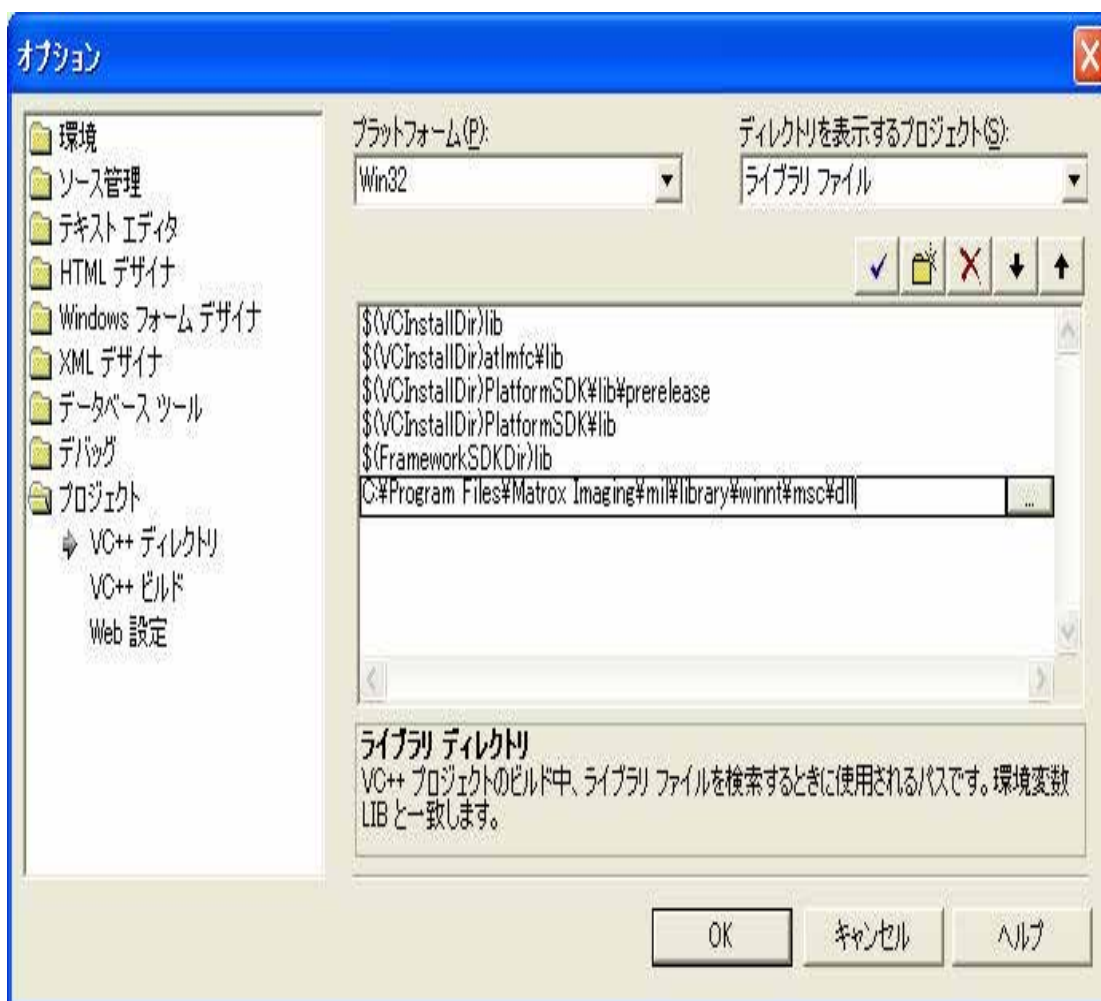
「OK」ボタンを押すと設定完了です。



10) 続いて、ライブラリを設定します。

「ソリューションエクスプローラー」内のプロジェクト名「sample」を選択した状態で

「表示」メニューの「プロパティ」を選択します。



11)

